

## 出産、精神障害、出生児、産褥精神病、妊娠 .....1

周産期における精神疾患は母体の健康、出産の結果および児の発達などに大きな影響を与える。産科医や助産師は女性の精神的健康状態に関わるニーズを評価する上で重要な役割を演じている。今回、一般的な周産期の精神疾患の発現頻度、出産前のスクリーニング、管理法に焦点を当て文献的レビューを行った。妊娠-出産に伴う精神疾患には気分障害、不安障害、精神性障害、産褥精神病、物質使用障害などが主たるものである。

気分障害には周産期うつ病と双極性感情障害(双極性障害)が含まれるが、産褥ブルー (postnatal blue) と産褥うつ病 (postnatal depression) を区別することが重要である。不安障害には強迫性障害、心的外傷後ストレス障害、全般性不安障害、パニック障害、特定恐怖症などが含まれる。

精神性障害である統合失調症の生涯発現率は1~2%で、産褥3か月の間の再発のリスクは24~25%、特に治療を中断しているものに多い。産褥精神病の発現率は分娩1,000あたり1~2例と報告されており、突然発症し偏執症、誇大妄想、被害妄想、情緒不安定、混迷などをみることがある。

物質使用障害はアルコール、タバコ、覚醒剤などを使用しているものもよく認められる。妊娠中のアルコール摂取は先天奇形の予防可能な原因の一つで、児に知的障害、神経発達障害などをもたらすこともある。これらの疾患に対してどのように対応するかということに関してはさらに研究を進める必要がある。

Perinatal psychiatric disorders: an overview

Elena Paschetta, Giles Berrisford, Floriana Coccia, Jennifer Whitmore, Amanda G. Wood, Sam Pretlove, Khaled M.K. Ismail  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):501-509.e6

【文献番号】 o12220 (妊娠合併症、産褥合併症、偶発症)

## 妊娠悪阻、発現頻度、新生児合併症、母体合併症、長期的合併症 .....4

動物実験では妊娠初期から中期における栄養の制限によって、仔の代謝や骨格筋の発育に異常が認められたと報告されている。骨格筋の変化は末梢のインシュリンの感受性に関わっており、将来の2型糖尿病やインシュリン抵抗性のリスクとも相関するのではないかと考えが示された。重症妊娠悪阻の母親から出産した児を調べた最近の研究では、思春期前においてインシュリンの感受性は20%低下し、空腹時インシュリンレベルが高いと報告されている。

児におけるインシュリン感受性の低下が長期的にどのような影響を及ぼすかという研究は行われていないが成人期におけるインシュリン抵抗性は2型糖尿病、高血圧、冠動脈疾患、脳卒中、癌、さらに精神障害などのリスクを高めるのではないかと考えているものもある。妊娠悪阻を認めた母親にはmetoclopramideやserotonin antagonistなどが用いられることがあるが、これらの薬剤が長期的な児の予後に影響を与えている可能性も考えられる。

Hyperemesis gravidarum and long-term health of the offspring

Ahila Ayyavoo, Jose G.B. Derraik, Paul L. Hofman, Wayne S. Cutfield  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):521-525

【文献番号】 o02100 (妊娠悪阻)

## 臨床的合併症、外陰損傷、脱毛、シェービング、陰毛 .....6

陰毛の除去を受けた患者において軽微な合併症はよく認められる。婦人科を訪れた患者に対しては女性が陰毛の脱毛について話し合いできるような環境を提供する必要がある。

Complications related to pubic hair removal

Andrea L. DeMaria, Marissa Flores, Jacqueline M. Hirth, Abbey B. Berenson  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):528.e1-528.e5

【文献番号】 g01600 (膣前庭炎、外陰部痛、その他の外陰腔疾患)

## CRP、子宮内膜症、チョコレート嚢胞、高感度CRP、炎症反応、病態発生 .....8

子宮内膜症は炎症性疾患と考えられているが血中高感度CRPレベルは子宮内膜症の有無で変化は認められなかった。したがって、高感度CRPによる分析は子宮内膜症の診断や期別診断の有用な指標とはならないと思われる。

Measurement of hs-CRP is irrelevant to diagnose and stage endometriosis: prospective study of 834 patients

Thibault Thubert, Pietro Santulli, Louis Marcellin, Sophie Menard, Magatte M'Baye, Isabelle Streuli, Bruno Borghese, Dominique de Ziegler, Charles Chapron  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):533.e1-533.e10

【文献番号】 r11200 (子宮内膜症、診断、治療、病態、チョコレート嚢胞、合併症)

---

## 分娩第1期、難産、分娩合併症、新生児合併症、周産期合併症.....11

難産を経験した女性においては最終的には経膈分娩に至るとしても分娩期延長はネガティブな母児の臨床結果と相関し、特に肩甲難産のリスクは上昇した。このような母児のリスクと分娩停止のために行われる帝王切開のリスクとのバランスを考える必要がある。

Defining an abnormal first stage of labor based on maternal and neonatal outcomes  
Lorie M. Harper, Aaron B. Caughey, Kimberly A. Roehl, Anthony O. Odibo, Alison G. Cahill  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):536.e1-536.e7

【文献番号】o04300 (難産、分娩停止、陣痛促進、肩甲難産、骨盤計測)

---

## 帝王切開、後期早産、母性保健、産科的介入、リスク因子.....14

母体や胎児のリスクの差を考慮した場合、正期産に比較し後期早産例においては産科的介入の尤度は35%低下するという結果が得られた。産科的ケア提供者は妊娠34～37週における分娩誘発や陣痛発来前の帝王切開を回避することが好ましいと考えているのではないかと思われる。

The association between obstetrical interventions and late preterm birth  
Kate L. Bassil, Abdool S. Yasseen, Mark Walker, Michael D. Sgro, Prakesh S. Shah, Graeme N. Smith, Douglas M. Campbell, Muhammad Mamdani, Ann E. Sprague, Shoo K. Lee, Jonathon L. Maguire  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):538.e1-538.e9

【文献番号】o01300 (早産、切迫早産、子宮収縮抑制、診断、治療、リスク因子、モニタリング、ACS、ステロイド)

---

## TTTS、双胎妊娠、レーザー手術、神経発達.....16

2000～2005年と比較し2008～2010年においてはTTTSの児の生存率は改善し神経発達障害の発現頻度に有意な低下が認められた。これらの合併症を伴った双胎妊娠の予後をさらに改善するためには脳の損傷の予防に焦点を当てた研究が必要である。

Improvement in neurodevelopmental outcome in survivors of twin-twin transfusion syndrome treated with laser surgery  
Jeanine M.M. van Klink, Hendrik M. Koopman, Erik W. van Zwet, Johanna M. Middeldorp, Frans J. Walther, Dick Oepkes, Enrico Lopriore  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):540.e1-540.e7

【文献番号】o07100 (双胎妊娠、双胎児間輸血症候群、胎児発育不均衡)

---

## 急性アテローム、心血管障害、リスク因子、脱落膜、血管病変、子癇前症.....19

今回の研究において子癇前症の既往歴のある女性において脱落膜の血管病変が認められた例では循環系に関わるパラメーターに変化が認められ、心血管疾患のリスクは上昇し、静脈のリザーブが低下し、動脈系のトーンが上昇するが、代謝系や血栓形成に関わる異常は伴っていないことが示唆された。

Cardiovascular and thrombogenic risk of decidual vasculopathy in preeclampsia  
Droima U. Stevens, Salwan Al-Nasiry, Marcela M. Fajta, Johan Bulten, Arie P. van Dijk, Maureen J. van der Vlugt, Wim J. Oyen, John M. van Vugt, Marc E. Spaanderman  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):545.e1-545.e6

【文献番号】o02200 (妊娠中毒症、妊娠高血圧、腎機能障害、胎盤剥離、子癇、リスク因子)

---

## 頸管長、CRH、炎症反応、早産.....22

妊娠第2三半期において超音波検査によって認められた頸管長の短縮をみた女性において血中のマーカーを調べたところ、頸管長の短縮は全身性炎症反応や母体胎児視床下部下垂体系の活性化と相関したが、全身性血栓-止血系との相関は認められなかった。

Rate of sonographic cervical shortening and biologic pathways of spontaneous preterm birth  
Leslie A. Moroz, Hyagriv N. Simhan  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):555.e1-555.e5

【文献番号】o01300 (早産、切迫早産、子宮収縮抑制、診断、治療、リスク因子、モニタリング、ACS、ステロイド)

---

## 妊娠合併症、新生児合併症、妊娠糖尿病、睡眠時呼吸障害.....24

妊娠早期の睡眠時呼吸障害とその後に発生する妊娠糖尿病との間には用量依存性の関係が存在した。対照的に、妊娠時の睡眠時呼吸障害と子癇前症、早産、極度の生下時体重の偏りとの間には相関は認められなかった。

Implications of sleep-disordered breathing in pregnancy  
Francesca L. Faccio, David W. Ouyang, Phyllis C. Zee, Anna E. Strohl, Anna B. Gonzalez, Courtney Lim, William A. Grobman  
Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):559.e1-559.e6

【文献番号】o12301 (産科関連事項)

---

## A型肝炎ワクチン、AB型肝炎混合ワクチン、妊婦、ワクチン有害事象報告システム .....25

ワクチン有害事象報告システムをレビューしたところ、母体にA型肝炎ワクチンあるいはAB型肝炎混合ワクチンを投与したとしても妊婦および出生児に危惧される有害事象の発生は認められなかった。

Reports to the Vaccine Adverse Event Reporting System after hepatitis A and hepatitis AB vaccines in pregnant women

Pedro L. Moro, Oidda I. Museru, Manette Niu, Paige Lewis, Karen Broder

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):561.e1-561.e6

【文献番号】 o12200 (免疫、感染、生体防御、ワクチン)

---

## 分娩間隔、先天奇形、葉酸欠乏症、妊娠間隔 .....27

先天奇形のリスクは妊娠間隔の短縮および延長のいずれにおいても上昇する今回の研究は文献的に認められている限られた研究の結果を支持するものであるが、奇形のタイプなどに関してさらなる研究が必要である。

Relationship between interpregnancy interval and congenital anomalies

Innie Chen, Gian S. Jhangri, Sujata Chandra

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):564.e1-564.e8

【文献番号】 o09100 (先天奇形、先天性疾患、新生児スクリーニング、リスク因子、放射線障害)

---

## cellular leiomyomata、染色体、1p、FISH、平滑筋腫、子宮筋腫 .....29

cellular leiomyomata (CL) と診断されたもののほぼ1/4に染色体1pの欠失が認められる。この遺伝子の変異は子宮肉腫に認められる臨床病理学的な所見と相関する。従って、CLは悪性化する可能性を有する臨床的に独立した範疇の疾患であると思われる。子宮筋腫の治療に際して子宮温存を好むものが増加していることから、今回得られた知見は重要である。cellular leiomyomataの患者において1pの欠失の状態を調べることで、臨床的な意思決定にも影響を与えることになるのではないかと思われる。

Uterine cellular leiomyomata with chromosome 1p deletions represent a distinct entity

Jennelle C. Hodge, Kathryn E. Pearce, Amy C. Clayton, Florin A. Taran, Elizabeth A. Stewart

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):572.e1-572.e7

【文献番号】 g02100 (子宮筋腫)

---

## 産褥、分娩後出血、血算、費用分析、輸血 .....31

分娩後において一定の対象者に限って血算を行うことによって輸血の頻度を低下させ費用を軽減し産褥期におけるケアの質も改善することができる。

The practical utility of routine postpartum hemoglobin assessment

Hannah B. Steele, Laura Goetzl

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):576.e1-576.e6

【文献番号】 o05200 (産科ショック、子宮復古不全、分娩後出血、貧血、子宮動脈塞栓術、止血法)

---

## 一絨毛膜双胎、管理法、至適分娩時期、新生児合併症、死産 .....34

妊娠34週以降で慎重なモニタリングで管理した合併症を伴わない一絨毛膜双胎において、死産のリスクは上昇することはない。しかし、後期早産の一絨毛膜双胎において新生児合併症の有意な上昇が認められ、このような結果は死産のリスクの減少によって正当化することはできないものである。今回のデータは合併症を伴わない一絨毛膜双胎においては妊娠37週での出産を支持するものである。

Risk of late-preterm stillbirth and neonatal morbidity for monochorionic and dichorionic twins

Jennifer L. Burgess, Elizabeth R. Unal, Paul J. Nietert, Roger B. Newman

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):578.e1-578.e9

【文献番号】 o07300 (多胎妊娠/多胎分娩関連事項)

---

## 頸管妊娠、子宮外妊娠、超音波診断、suction curettage、バルーンタンポナーデ .....39

頸管妊娠は子宮外妊娠の中で最も稀な妊娠であるが、今日では妊娠早期から経膈超音波が行われ検知されることも多いが、その前に自然流産の時点で診断されることがある。時には、妊娠第2-3半期に達することもある。いずれも子宮摘出を必要とすることもあり、生命を脅かす出血を伴うこともある。早期に経膈超音波診断を行い、特に三次元画像で調べることによって本症の着床部位を容易に明らかにすることができsuction curettageによって中絶させることもできる。

Cervical pregnancy: 13 cases treated with suction curettage and balloon tamponade

Donald L. Fylstra

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):581.e1-581.e5

【文献番号】 o01200 (子宮外妊娠、部位不明妊娠、内外同時妊娠)

---

---

## バクリバルーン、子宮摘出、骨盤底の出血、骨盤パッキング .....42

子宮摘出術後に時に骨盤底からの大量出血に遭遇することがあるが、通常の方法では生命を脅かすようなこのような出血をコントロールすることは難しい。今回、3例の症例に、高容量のバクリバルーンを用いて骨盤を圧迫し出血のコントロールに成功した。バクリバルーンは腹壁の開腹創から挿入し後膣凹蓋に小さな切開を加え、管を膣の方向に出しバルーンを拡張した。バルーンは生食を用いて拡大し効果的に骨盤底を圧迫し出血をコントロールした。バルーンは術後24～30時間を経た時点において抜去した。追跡調査の結果、すべての患者が合併症もなく回復した。

Effective use of the Bakri postpartum balloon for posthysterectomy pelvic floor hemorrhage

Kittipat Charoenkwan

Am J Obstet Gynecol.2014 Jun;210(6):586.e1-586.e3

【文献番号】 g07600 (手術関連事項)